

令和2年5月25日

令和3年度 名古屋大学大学院情報学研究科 博士前期課程入学試験について

新型コロナウイルスの感染拡大による受験生の健康管理を鑑みて、以下のように対応することとします。

新型コロナウイルスの感染状況によって、今後変更される可能性があります。変更内容は研究科ホームページ等で通知しますので、定期的に確認するようにしてください。

1. 試験実施日程について

例年8月上旬に実施してきた「筆記試験と口頭試験」の実施日程を1ヶ月程度遅らせて、8月下旬から9月中旬に実施します。

これにあわせて、数理情報学専攻において実施している「口述試験」についても、例年よりも遅らせて実施します。

2. 募集要項の配布時期について

試験実施日程の変更に伴い、募集要項の公開時期を例年よりも遅くし、6月中に公開する予定です。

3. 英語試験の実施方法と英語外部試験の成績通知書の提出について

【数理情報学専攻，社会情報学専攻，心理・認知科学専攻】

出願時における英語外部試験の成績通知書の提出を求めません。英語試験を実施しません。

【複雑系科学専攻，情報システム学専攻，知能システム学専攻】

出願時における英語外部試験の成績通知書の提出を認めます。成績通知書は平成29年4月1日以降受験分を有効とします。英語外部試験の成績通知書の得点を100点満点に換算し、合否判定に用います。

英語外部試験の成績通知書を提出しない受験生に対して、英語の筆記試験を実施します。

出願時に英語外部試験の成績通知書を提出した受験生が希望する場合、筆記試験を受験することができます。この場合、英語外部試験の成績通知書の得点を100点満点に換算し、筆記試験の成績と比較して、良い成績を合否判定に用います。

ただし、今後新型コロナウイルスの感染状況によって筆記試験が実施できない場合は、出願時における英語外部試験の成績通知書を合否判定に用いません。